

# 【 2017男子世界選手権 】

2017年1月11日～1月29日

開催国 ・ 都市 フランス・ブレスト

## 試合結果報告

1 月 21 日 ( 土 )

JAPAN	VS	ANGOLA
<b>18</b>	前半	<b>14</b>
<b>19</b>	後半	<b>12</b>
	第一延長	
	第二延長	
<b>37</b>	合計	<b>26</b>

### 個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
5	高智	2		2
6	加藤			0
8	渡部	1	2	3
10	小室			0
12	木村			0
19	徳田	4	4	8
21	甲斐			0
23	小塩		1	1
24	信太			0
25	元木	1	3	4
27	玉川			0
29	東江	5	2	7
30	成田	1		1
31	銘苅	2	2	4
32	土井	2	5	7
33	志水			0
	<b>合計</b>	18	19	37

### 戦評

第25回男子世界選手権フランス大会、6戦目、順位決定戦は、予選グループB組6位のアンゴラとの試合。スタートの日本の布陣は、左サイド土井、右サイド渡部、左45'信太、右45'高智、センター東江、ピヴォット加藤、DFは東江に替わり成田、GKは木村でアンゴラに挑む。

この試合、日本は、最初の攻撃で渡部がサイドの角度のないところからシュートを決め日本が先制点を上げる。その後も日本は、東江のロング、土井のクイックスタートからの得点、高智のミドル、成田の2次速攻からのミドルなどで得点は奪うものの、アンゴラも警戒していた右45'のロングシュート、個人技ではあるが素早い身のこなしからのフェイントでのカットイン、また力強いポストの押込みで得点を奪われる。日本は16分過ぎに9・10と1得点勝ち越されたところで、両45'を銘苅、徳田に替え、DFも5・1DFで相手に高い状態からプレッシャーをかける戦術に変更し対応する。21分過ぎ、徳田のミドル、2連続速攻で23分には14・11と3点リードし流れは日本に。その後アンゴラもエースNO7・9、NO17の強烈なロングシュートで得点を奪うが、日本もアンゴラの2回の退場の機会に土井のサイドシュート、元木の速攻、東江のカットイン、銘苅のミドル、徳田のカットイン得点を奪い、前半を18・14の4点差で折り返す。後半も前半同様、5・1DFから時には、3・3DFに変化して守り、アンゴラに攻撃のリズムを与えない間に、日本は36分過ぎ、土井、銘苅、徳田などが連続得点を奪い、アンゴラに1得点与えるも、再び日本は連続速攻、セットでも土井のサイド、徳田のカットインで得点を奪い、50分には、32・19と13点差と点差が広がる。その後も日本は攻撃を緩めることなく、得点を重ね最終的には、37・26の11点差で、この世界選手権初勝利を手にする。試合は前半途中から仕掛けた、5・1DFまたは、3・3DFが良く機能し、後半の速攻、またセット攻撃でも連続得点がこの試合の勝利を決定付けた内容の試合だった。この試合の優秀選手として8得点を取った、徳田選手が選ばれた。

### 試合結果

レフリー：イランペア

報告記入者：

田中茂